

市川市議会は毎年4回、2月、6月、9月、12月に定例会を開きます。市議会だよりは原則として定例会が終了した月の翌々月の第2土曜日に発行(新聞折り込み)し、審議内容をお知らせしています。この他、1月1日に新年号を発行しています。

## 9月定例会

# 市民マナー条例を改正

## 補正予算案など議案17件を可決



路上禁煙・美化推進地区を巡視する市民マナー条例推進指導員

市議会は、9月4日から24日まで9月定例会を開きました。

9月定例会では、市川市アイ・リンクタウン展望施設の設置及び管理に関する条例の制定や市川市市民等の健康と安全で清潔な生活環境の保持に関する条例(市民マナー条例)の一部改正、住宅用太陽光発電システム設置費補助金などを計上した平成21年度市川市一般会計補正予算など議案17件と、平成20年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算など認定2件、人権擁護委員の推薦につき意見を求める諮問、健全化判断比率など報告4件が市長から提出されました。また、議員から大胆できめ細かな雇用対策を求める意見書の提出など、発議6件が提出されました。

この他、33人の議員による一般質問が行われました。(一般質問は2面から5面に掲載、審議結果一覧は6面に掲載)

### 平成20年度決算

#### 特別委員会で審査

平成20年度の一般会計、特別会計及び公営企業会計決算が市長から提出されました。

一般会計及び8つの特別会計を合わせた歳入決算額は2155億6434万9025円(対前年度比0.8%減)、歳出決算額は2085億5547万4913円(同1.0%減)となっています。

また、歳入から歳出を差し引いた残額は70億887万4112円(同3.0%増)となり、これから翌年度へ繰り越すための財源13億5848万1971円を差し引いた実質収支額は56億5039万2141円(同10.5%増)の黒字となります。

また、公営企業会計(市川市病院事業会計)は、市からの負担金を含めた総収益が16億2076万6947円(同3.3%増)となり、これに対し総費用は16億2076万6947円(同3.3%増)で、純利益は0円となっています。

決算は決算審査特別委員会で審査し、その結果を12月定例会で委員長が報告した後、議決します。

#### 【決算審査特別委員会】

委員長	稲葉 健二	並木 まき
副委員長	堀越 優	加藤 武央
委員	石原美佐子	金子 正
	秋本のり子	竹内 清海
	谷藤 利子	
	宮田かつみ	
	笹浪 保	

#### ◆議案

○市川市アイ・リンクタウン展望施設の設置及び管理に関する条例の制定について  
眺望を楽しむことが出来る市民の憩いと交流の場としてアイ・リンクタウン展望施設を開設するため、その設置と管理について定めるものです。

○市川市障害者福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について  
松香園の定員を増員するほか、南八幡ワークスの管理を指定管理者が行うようにするものです。

○市川市市民等の健康と安全で清潔な生活環境の保持に関する条例の一部改正について  
健康で安全かつ清潔な都市のより一層の実現を図るため、路上禁煙・美化推進地区において飼い犬のふんの放置をする者等に対し過料を科することが出来るようにするものです。

○平成21年度市川市一般会計補正予算(第1号)  
一般会計補正予算案は、住宅用太陽光発電システム設置費助成事業費など31億3623万円を追加し、歳入歳出予算の総額を1207億3623万円とする補正を行うものです。

#### ◆認定

○平成20年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算の認定について  
平成20年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算を監査委員の意見を付けて議会の認定を求めるものです。

#### ◆報告

健全化判断比率、資金不足比率、継続費の継続年度終了による精算、専決処分について報告されました。

#### ◆審議結果

本会議での採決の結果、市長提出議案17件をいずれも原案通り可決・同意し、諮問1件を異議ない旨答申し、平成20年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算と平成20年度浦安市市川市病院組合浦安市市川市市民病院事業決算の認定を閉会中継続審査事件としました。また、議員提出の意見書案6件を可決しました。

# 一般質問

9月定例会では、33人の議員が一般質問を行いました。質問の持ち時間は答弁を含めて1人60分。ここでは紙面の都合上、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、ジャンルごとにまとめて掲載しました。

<会派の略称>

ガバナンス=ニューガバナンス    みらい=みらい・つばさ  
社民・市民=社民・市民ネット    市民連合=市民連合・あい



薬物乱用防止街頭キャンペーンの様子

## 道路・交通

### 京成本線立体化

守屋貴子議員(民主クラブ)

京成本線の立体化については、地下と高架を併用するF案が望ましいとの有識者委員会の提言に対し、決定

**検討が必要は問題の先送りでは  
全ての関係者との合意に取り組み**

にはもう少し時間がかかると思う。本市は平成21年度中に方向性を出す事となっていたが、まだ検討が必要というのは問題を先送りにしていると思えない。誠実に取り組んでいきたい。

### 東西線の騒音対策

松永修巳議員(緑風会)

東西線の江戸川を渡る鉄橋の騒音により、沿線住民が悩まされている。市としても東京地下鉄株式会社等

**現状改善の取り組みを  
調査実施し低減を申し入れていく**

に対して、現状改善を申し入れるなどの取り組みを行うべきではないか。また、信篤地域では地盤が弱い道路を大型車が通り、騒音・振動がひどいと思う。市として改善できないのか。答 鉄道の騒音対策については、事業者も対策可能なところから、順次実施している。市としても騒音調査を実施し、その結果を基に、事業者にも騒音の低減を申し入れていきたい。また、道路については、状況を調査し、舗装補修工事に対応していきたいと考えている。

### JR市川塩浜駅へのバス路線

笹浪 保議員(公明党)

昭和63年にJR市川塩浜駅が開業し、塩浜市民体育館、市川斎場塩浜式場等が

**南行徳地域からの延伸計画の経過は  
平成21年12月開業目指し進めている**

地域は同駅へのバス路線が無く、地域住民は不便を感じている。住民から同駅への路線延伸の要望が多く寄附、市川斎場塩浜式場等がせられ、議会で何度も質問してきた。バス路線延伸計画のその後の経過を問う。答 新路線について、京成バスと京成トランジットバスと協議した結果、京成トランジットバスが12月の開業を目指して、作業を進めている。JR市川塩浜駅から南行徳駅付近を経由し、東西線浦安駅までを営業区間とし、1時間に1本程度のダイヤ編成で運行される。

### 行徳駅前広場のバリアフリー

大川正博議員(公明党)

行徳駅前広場の高齢者や障害者のための乗降スペース確保について、進捗状況を

**高齢者や障害者の乗降スペースを  
平成22年度に工事を実施したい**

た、同広場のバリアフリーを進めるためにも、修繕計画が必要ではないかと考え、パブリックコメントを行う予定がある。進捗状況はどうか。答 乗降スペース確保については、周辺の商店会とも合意し、県警察本部との事前協議も整った。平成21年8月に県公安委員会に本協議書を提出しており、同委員会からの回答後、22年度に工事を実施したい。また、修繕計画については、地域からの要望の中で意見を聴き、その結果、必要であれば検討していきたい。

## 保健

### 肺炎球菌ワクチン接種

大場 諭議員(公明党)

肺炎にかかった高齢者の半数近くが肺炎球菌の感染によるものであり、重症化の大きな原因になっている。考えはないか。

**高齢者の命を守るために公費助成を  
国の方針明らかにした段階で対応**

全国でこれまで129市が行っている。本市でも肺炎で亡くなる高齢者の命を守るために、公費助成を行う考えはないか。答 高齢者の安全・安心を守るため、ワクチン接種の重要性は十分認識している。しかし、国はワクチンの有効性や安全性、費用対効果等を検討中であり、予防接種に関する方針も示されていない。国の方針が明らかになった段階で、本市としても総合的に検討し対応していきたい。

### 薬物乱用の防止

堀越 優議員(公明党)

薬物乱用が一般社会にもはびこっており、乱用者の低年齢化が特に問題である。青少年が人格の形成時

**本市の薬物乱用防止活動は  
街頭キャンペーンなど継続する**

期に薬物に染まると、社会に適應することが困難となり、人生を駄目にしてしまう。本市における薬物乱用防止活動の在り方と今後の対応策について問う。答 教育委員会では、市内小中学校で薬物乱用防止教室を毎年開催している。また、警察、中高生ボランティアなどの協力による薬物乱用防止街頭キャンペーンも毎年実施している。国は青少年の薬物乱用の根絶を重点目標としており、本市も関係機関と連携を図りながら継続的に推進していきたい。

### 動物愛護週間

並木まき議員(民主クラブ)

市川健康福祉センター(保健所)には合計485頭と、他市と比較して多くの犬・猫が本市市民から引き取られ、自治体としての取り組み

**飼養者のマナー改善の取り組みを  
愛護週間を活用し適正な飼養を進める**

れ、致死処分にされている。市民マナー条例改正に伴い、飼養者のマナー改善やモラル向上の良ききっかけとして、動物愛護週間を通して、動物愛護週間を通して、自治体としての取り組みを検討していきたい。

### 都市計画道路3・4・18号

勝亦竜大議員(社民・市民)

富貴島小学校より北700mの都市計画道路3・4・18号には、29カ所で遮音壁がないという。また、遮音壁をどう考えているのか。

**環境対策をどう考えているのか  
沿道住民の意向聴きながら取り組む**

壁を設置しない住宅に、市は防音サッシ等の対策を掲げているが、防音サッシにするエアコン無しでは生活が出来なくなる。環境対策をどう考えているのか。答 遮音効果と安全性、沿道環境への影響を考慮した、3・5mの透光性遮音壁の設置等を基本とした環境対策案を策定した。遮音壁の設置区間については、沿道の関係者に意向確認をしている。今後も関係者の意向を聴きながら、環境保全目標の達成に向け、環境対策に取り組んでいきたい。

# 下水道

## 豪雨のたびに被害発生 対策は排水機場の改良等で被害を軽減

鬼高地区の道路冠水

暫定策として、真間川へ雨水を放流する北原木排水機場のインバーター化と水路横断管の設置等で、被害がこれまで比べて軽減すると考えるが、今後も県等と協議し早期に抜本策が図れるよう努める。

鬼高地区は、豪雨のたびに道路に水が溢れ、横断歩道を渡れず立ち往生する人や裸足で道を歩く光景を目にする。自家用車が故障するなどの被害も発生し、地域住民は水の被害に悩まされている。同地区の冠水対策の現状を問う。

桜井雅人議員(日本共産党)

北原木排水機場



# 行政

市長の市政総括

## 3期12年をどう評価する 行財政改革に成果上げた

荒木詩郎議員(民主クラブ)

市長は、その任期中、行財政改革を断行して成果を上げてきた。このことは評価されることであるが、市

長は次期市長選挙へ立候補せず市政から引退することを発表した。自らの市政3期12年をどう総括し、どのように評価するのか。就任時の市の財政は非常事態の状況にあって、歳入に合った歳出を基本に健全化に取り組んできた。行政改革では、市民の目線で組織のネットワーク化を進めてきた。周囲からは急ぎすぎとの指摘もあり、迷惑もかけたが、成果を上げることができたのは議会の協力や市民の理解、職員の努力の賜物と感謝している。

平和市長会議

## 本市の会議加盟の時期はいつ頃か 平和都市宣言25周年の21年度中に

寒川一郎議員(みらい)

平成21年6月定例会において、平和市長会議への加盟については前向きに検討すべきであるとの答弁があるが、具体的には、加盟

の時期はいつ頃を考えているのか。 答 平和市長会議への加盟の時期については、21年が核兵器廃絶平和都市宣言から25周年の節目の年であること、また、22年に核不拡散条約再検討会議が開催されることから、宣言月の11月中の加盟を目指して準備を進めているところである。

市役所職員採用試験

## 身体障害者採用枠設置の進捗状況は 平成21年度に試験を実施する

加藤武史議員(自由クラブ)

1年前の議会で身体障害者の雇用促進の質問に対し、一般行政職の採用枠とは別に身体障害者対象の採用

計画を策定するとの答弁があった。進捗状況を問う。 答 また、年齢学歴撤廃の採用試験制度導入から6年が経過したが、高卒者の採用がない。今後は採用試験を

業務委託の入札

## 低入札が増加し市内業者が疲弊 総合評価公共調達制度の創設を検討

金子貞作議員(日本共産党)

本市は価格を競う一般競争入札が原則だが、その結果、低入札が増加し市内業者が疲弊している。低入札

の実態を問う。また、入札までの事務を各課で行っているため、入札結果に疑問が生じる案件がある。労働者の生活確保のため、市として統一した業務委託の方

# 自然

三番瀬の保全

## 広報紙で「自然病む」となぜ強調 今の状態が健全とは言えないと認識

谷藤利子議員(日本共産党)

平成21年6月20日付の市広報紙で「自然病む三番瀬」と強調していたが、これでは三番瀬の環境が相当悪い

と市民は思ってしまう。8月に行政支所長が三番瀬保全団体との懇談時に述べた認識とこの表現とは、三番瀬に対する認識が違っていると判断している。

市民税等の滞納

## 市民の立場に立った対応とれないか 個々の事情聞き相談に応じている

清水みな子議員(日本共産党)

市民から「借金の返済に追われ市民税等の完納の見通しがないが、市担当者はこちらの事情を聞いて

に立った対応がとれないか。 答 再三にわたる納税の呼び掛けにも応答が無い場合には、財産の差し押さえ等の厳正な処分を行っているが、納税の意志が有る場合には、個々の事情を聞き、相談に応じている。納税の公平を期する意味でも職員は日々努力し、適正な事務を行っていることを認識する。

# 行政

職員研修

## 市民が成果を実感できる取り組みを 研修体制見直す必要があると考える

宮田かつみ議員(ガバナンス)

サービス向上を目指して職員研修が実施されているが、市民が成果を実感できていない。職員の健康状態が市

民サービスに及ぼす影響と事業の継続性や市民評価の観点から、職員数削減の実態についての認識を問う。 答 市民サービス向上には、削減された経費は様々な事業に振り分けている。

投票所立会人報酬

## 従事時間に見合った報酬額にすべき 不公平感の是正に配慮し検討していく

松葉雅浩議員(公明党)

先に実施された衆議院議員選挙の期日前投票において、各投票所の投票時間が異なるにもかかわらず、投票

票立会人の報酬が同額である。時間給にするなど、従事時間に見合った支給額になるような対策が必要と考へるがどうか。 答 投票立会人の報酬は、条例の規定に基づき、一定額を支給しているが、投票時間の長短による不公平感

# 福祉

## 在宅介護を支える介護者の支援策は 地域包括支援センターを中心に展開

### 介護者支援

**秋本の子議員(社民・市民)**  
平成18年の介護保険制度の改正により、介護の社会化に逆行して在宅介護の割合が増えている。在宅介護を支える家族を支援するためのサービスが必要であり、地域包括支援センターでの支援や課題と地域力を高めるためのコミュニティワーカーの増員等について問う。

**答** 介護者支援は、介護者も含めて世帯を支援することが大切であり、地域包括支援センターで、要介護者及び介護者からの相談に応じ、適切な支援を行っている。また、コミュニティワーカーも地域ニーズの把握等を行っており、活動状況を社会福祉審議会に報告し、今後の方向性を検討する。

### 高齢者支援

## ひとり暮らし高齢者にどう対応 民生委員や地域のつながりを活用

**二瓶忠良議員(日本共産党)**  
本市において、今後、ひとり暮らしの高齢者が増えていくと考えられる。市ではこうした高齢者の生活の実態をどのように把握し、対応しているのか。また、いざという時のための対応策はどのようなものになっているのかを問う。

**答** 民生委員が行う友愛訪問の対象には約2千人の登録があり、月1回から3回の訪問で安否確認や生活上のアドバイスなどを行っている。行政の目が届かない、孤立した高齢者には、民生委員、地域、社会福祉協議会との協働で進める地域ケアシステムを通じ、サロン活動などへの参加を促していく。

### 高齢者支援

## 市民意向調査をどう反映させる 施設整備や在宅介護の充実を図る

**坂下しげき議員(ガバナンス)**  
本市も高齢社会を迎え、市民が望む事業を実現するためには、市民意向調査を踏まえ、将来の財政負担を

**答** 調査結果は、老人保健福祉計画や介護保険事業計画の策定に際し、市民ニーズの高い特別養護老人ホームの整備目標等に更に反映させるよう工夫する。また、施設入所希望者の多くが家族介護の負担軽減を理由に挙げているため、デイサービスなど、在宅介護サービスの拡充も図っていききたい。

### 防犯対策

## 頻発するひったくり被害の対応は 警察と連携した啓発活動を展開する

**佐藤義一議員(市民連合)**  
最近、本市でひったくり被害が頻発しているが、市はどう対応しているのか。新聞によると、ひったくり

**答** ひったくりは雇用情勢の悪化などから本市でも増加している。対応としては、青色防犯パトロールの拡充、街頭防犯カメラの設置等の施策の他、自転車の前カゴネット、バッグの持ち方等各人の心がけと対応が効果的であり、PRしている。引き続き警察と連携した啓発活動を展開していく。

### 災害時の自治機能

## 小学校防災拠点構想の確立必要 地域防災力向上に向け積極的に推進

**田中幸太郎議員(みらい)**  
災害時には、行政機能がまひすることもあり、地域住民相互の自治機能が重要と考える。中心的避難場

**答** 阪神淡路大震災を例にとっても、災害時の公的支援には限界がある。そこで、平常時に、自治会、PTA、近くに住む市職員等が地域防災拠点運営委員会を立ち上げて、実情に合った防災訓練の実施や防災計画立案により、地域防災力を高める取り組みを積極的に推進したい。また、このことで、災害時要援護者への取り組みも進むと考えている。

# まちづくり

## 県立市川北高等学校跡地利用

## 校舎を活用し保育施設の設置を 県を含めて全体計画の中で検討

**中山幸紀議員(自由クラブ)**  
千葉県立市川北高等学校は、平成22年度に閉校すると聞く。跡地利用として、耐震改修済みの校舎に保育園、一時保育、保育クラブ等の保育施設を設置できないか。既存施設の活用は、経費の軽減と課題となっている待機児童を解消する良い機会である。保育施設設置の考えを問う。

**答** 閉校後の校舎利用は、改修費用などを考慮し、校舎の形態を生かせる計画が望ましいと考えている。校舎の一部を保育施設等、時代のニーズに応じた施設への活用も検討していくが、現在、同校は県所有のため、県を含めて跡地利用の全体計画の中で検討したい。

## 大和田、稲荷木地区の街づくり

## 道路による街の分断への対策は 生活道路の確保を進めていきたい

**増田三郎議員(自由クラブ)**  
大和田、稲荷木地区の住民は、京葉道路により南北の行き来が不便である上、外環道路によって更に分断

**答** 分断対策は、本市が外環道路の受入れを回答した際に提出した9分類22項目について、事業者がこれに沿って検討し、都市計画決定内容等に反映したと認識している。いずれにしても、生活道路の確保が重要であり、今後は市が中心となって協議等を進めていきたい。

## 旧伝染病院隔離病舎跡地

## 跡地活用の協議状況は 病院南側の土地の一部と交換に合意

**松永鉄兵議員(緑風会)**  
国府台病院敷地内にある旧伝染病院隔離病舎跡地は、本市が所有しているが、跡地活用について病院との協

**答** 跡地については、国府台病院南側の土地の一部と交換する基本合意書を病院と取り交わした。現在、跡地の埋蔵文化財調査等を実施している。また、スポーツセンターの再整備については、今後、交換用地の活用を含め、関係部門、関係機関と協議し改善案を検討していく。

## 市川駅南口再開発

## 風害の現状や商業活性化対策は 計画通りに進捗するよう努める

**フリテイ長嶋議員(ガバナンス)**  
市川駅南口再開発事業における風害対策の現状と今後の対策について問う。また、商業施設は空き店舗が

**答** 風害対策は模型実験により計画してきた植樹とびさしの設置等により対応しているが、樹木の生育が遅れているものもあり、施工者に対応を働きかけていく。また、商業施設の活性化のためにも、計画通りに駅前広場の工事を進めたいと考えているが、イベント等の開催については、管理組合と相談していく。



### 東京外郭環状道路特別委員会

#### 今後の事業予定の説明を受ける

東京外郭環状道路特別委員会を平成21年8月11日に開催し、国、東日本高速道路(株)と県の関係者から今後の事業予定等について説明を受けた後、工事の進捗状況や、8月8日に暫定供用された国道357号から県道市川浦安線の環境対策等について、委員による質疑が行われました。

#### 用地取得及び工事状況等について

平成21年6月末現在、松戸市が約99%、市川市が95%となり、千葉県区間全体で約96%の用地を取得している。用地の任意取得と並行して、21年2月10日に事業認定申請し、21年4月24日から25日にかけて土地収用法に基づく公聴会を開催した。工事は市内事業予定区域内において、埋蔵文化財調査の終了箇所から順次工事に着手され、27年度全線供用を目標に進められている。

#### 先行整備について

市川北部(北国分・国分地区)においては、平成21年度に市川市域の中国分小学校と国分小学校間の市道01330号に平行する区間において、歩道を中心に一部副道と併せて整備する予定である。その他の区間についても、現道の利用状況や交通状況、外環道路の今後の施工計画などを踏まえつつ、現在整備箇所を検討中である。

### 行徳臨海部特別委員会

#### 市から説明を受ける

行徳臨海部特別委員会を平成21年7月17日に開催し、市の担当者から、塩浜1丁目護岸の整備、塩浜地区まちづくり等について説明を受けた後、塩浜1丁目護岸に対する県の対応や、地域コミュニティゾーンの進捗状況及び事業手法等について、委員による質疑が行われました。

#### 塩浜1丁目護岸整備

市は財政的な負担を含め協力するので、県が主体となって恒久的な護岸改修に向け取り組むよう再度要望書を提出。それに対し、県からは県が主体となって、市の財政的負担を得ながら、塩浜1丁目護岸前面海側において、護岸の安全確保につながる三番瀬の再生・保全に取り組むとの回答を得ている。

なお、県は平成21年6月補正予算において、改修に向けて3千万円の調査費等を計上している。

今後は21年度に地形測量などの基礎調査を、22年度に環境影響予測・評価等を行い、23年度に工事着手し、25年度に工事完成する予定である。

#### 地域コミュニティゾーン整備

市が主体となって用地買収及び施設建設を進め、行徳地域における福祉、スポーツ、防災等の拠点として活用していく。面積は約3.38haで、計画されている施設は都市公園、体育館(当面は運動場)、障害者施設等となっている。

### 議案等の審議結果一覧

件名	各派の賛否								審議結果
	公明党	自由クラブ	日本共産党	緑風会	ガパナンス	みらい	民主クラブ	市民連合	
○市長提出									
議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13号	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
14号	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15号	○	○	×	○	○	○	×	○	可決
16号	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17号	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
18号	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19号	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20号	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21号	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22号	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
23号	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24号	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
25号	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
26号	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
27号	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
28号	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
諮問第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	可答申
議員の派遣について	○	○	×	○	○	○	○	○	承認
○議員提出									
発議第13号	○	○	×	○	○	○	×	○	可決
14号	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15号	○	○	×	○	○	○	×	○	可決
16号	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17号	○	○	○	○	△	○	×	○	可決
18号	○	○	○	○	△	△	×	○	可決

※ガパナンス=ニューガパナンス ※みらい=みらい・つばさ  
 ※市民・市民=市民・市民ネット ※市民連合=市民連合・あい  
 ※議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。

(○賛成、×反対、△一部賛成・反対、空白退場)

### 人事議案に同意

#### 教育委員会委員

市長から教育委員会委員の任命についての議案が提出され、議会はこれに同意しました。

教育委員会委員  
内田 茂男 氏

### 意見書

9月定例会に意見書案6件が提出され、議会は提出案件のすべてを可決しました。可決した意見書は、9月25日に関係行政庁へ送付しました。(審議結果は左表)

#### 大胆できめ細かな雇用対策を求める意見書(要旨)

我が国の経済は若干の持ち直しの動きがみられるものの、引き続き厳しい景気動向の中で、依然として最悪の状況が続いている。特に、懸念される非正規労働者等の失業期間の長期化に対応するため、政府は平成21年度補正予算に緊急人材育成・就職支援基金による支援事業を計上。35万人分の職業訓練機会の確保、30万人分の訓練期間中の生活保障など、雇用保険を受給できない非正規労働者・長期失業者の方などに対するセーフティネット機能を持つ仕組みをつくり、ハローワークを中心にして総合的に推進している。

については、雇用情勢のこれ以上の悪化を防ぐため、政府におかれては、下記の点について、さらなる取り組みを強く要請する。

- 記
1. 訓練・生活支援給付金の受給資格認定や支給事務に当たっては、対象の失業者が雇用保険の受給を受けていないという実態を踏まえ、柔軟かつ迅速な対応を行うこと。また、職業訓練の委託先団体の実態も地域によって格差があり、各地域において、特に新規成長・雇用吸収分野の訓練コースの確保に努めること
  2. 雇用調整助成金の運用に当たっては、中小・零細事業者の経営実態を踏まえ、社会保険労務士などの協力を得て、ハローワークの積極的な対応を行うこと
  3. 業務を円滑実施できるようハローワークの窓口体制の全国的な整備に努めること